

令和4年度(令和3年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

総務部財政課

総務部長 坂元 照幸

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
7-1	地方債償還元金	なし	B	計画的な地方債の償還と、市全体の歳入確保と歳出抑制を図る中、新たな起債発行を抑制し、目標値の37億円を上回る45億円の債務の削減を達成し、地方債等残高は令和3年度において312億円から267億円と大幅に削減できた。	現状 維持	今後予定される公共施設の更新、新病院建設等による財政需要の増額が見込まれるため、起債の発行額を抑制し、健全で持続可能な財政運営に努める。
課等長	1次評価（令和3年度の総括評価）					
B	地方債償還元金については、計画的な地方債の償還と借入により、目標額を達成でき、地方債残高を大きく削減し、財政健全化につなげることができた。今後は、新半田病院建設、小・中学校等の施設更新に係る費用の増加や新型コロナウイルス感染症による影響などに注視し、引き続き健全で持続可能な財政運営に努める。					
部等長	2次評価（令和3年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）					
B	地方債残高の縮減については、目標通り達成することができた。しかしながら、多くの公共施設の更新が迫るなか、新型コロナウイルス感染症等の状況は予断を許さず、税収減や必要な対策等に対応すべく、基金の活用と合わせ、起債による財源確保も必要となるため、社会動向等を勘案し、適切な財政管理を行っていく。					